



令和5年6月27日

メディア関係者・プラットフォーム事業者各位

令和5年7月15日(土) 10時～12時 オンライン開催  
**第5回 自殺報道のあり方を考える勉強会**  
～地方メディアが変える、地域の自殺対策～

秋田魁新報社のキャンペーン報道、有名歌舞伎俳優の報道に関する分析結果を報告

厚生労働大臣指定法人・一般社団法人 いのち支える自殺対策推進センター（東京都千代田区、代表理事・清水康之、略称「JSCP」）は7月15日（土）、自殺報道に関する勉強会を開催致します。

5回目となる今回は、地方メディアの自殺報道をテーマとし、秋田県で16年にわたり自殺対策のキャンペーン報道を行ってきた秋田魁新報社の取り組みをご報告いただきます。秋田県の自殺率（人口10万人当たりの自殺者数）は全国で最も高い状況が長く続きましたが、近年は半減しています。その間、同社は一貫して「自殺は個人ではなく社会の問題」と伝えることで、地域社会で根強かった「自殺について語ってはいけない」というタブーを壊し、記事の力で民間団体を力づけ続けました。同社はいかにして地域の社会課題に社を挙げて向き合うことになったのか、なぜ16年も続けられたのか。本勉強会では、キャンペーン開始当初から取材を続け、現在は同社営業局次長として社の自殺対策事業に携わる吉田新一氏に、同社の取り組みについてご報告いただきます。

続くパネルディスカッションでは、中小企業経営者の自殺対策に長年取り組み秋田の自殺対策をけん引してきた秋田市のNPO法人「蜘蛛の糸」理事長の佐藤久男氏、JSCP代表理事の清水康之が加わり、秋田魁新報社の報道が果たしてきた役割や、地域に密着した地方メディアだからこそできること、などについて考えます。

「自殺報道」というと、センセーショナルな報道後に自殺者数が増加する「ウェルテル効果」が知られますが、長期的な視点で見ると、継続的な啓発報道によって「自殺は個人の問題」「弱いから死ぬんだ」等の誤解や偏見を払拭することが自殺者を減らすために重要であり、[WHO 自殺報道ガイドライン](#)にも記載されています。

本勉強会ではその他、地方メディアがどのように自殺報道に取り組み、どんな悩みや課題を抱えているのか、報道現場の生の声をご紹介します。また、5月18日初報の有名歌舞伎俳優に関する報道の影響について、JSCPからご報告する予定です。ぜひ、ご参加ください。

- 日時：令和5年7月15日（土） 10：00～12：00
- 対象：メディア関係者、プラットフォーム事業者等
- 形式：オンライン（Zoomウェビナー）
- 参加費：無料
- 登壇者

【事例の報告】「秋田魁新報社の自殺対策キャンペーン報道について」

秋田魁新報社 営業局次長 吉田新一氏

【パネルディスカッション】「地方メディアが変える、地域の自殺対策」

吉田新一氏 / NPO法人「蜘蛛の糸」理事長 佐藤久男氏 / JSCP代表理事 清水康之

- 申し込み：[令和5年7月13日（木）締め切り](#)

## 「第5回 自殺報道のあり方を考える勉強会」プログラム（敬称略）

時間	プログラム	登壇者
10:00	開会の挨拶	清水康之 (JSCP 代表理事)
10:10	JSCP からの報告（有名歌舞伎俳優の報道に関する影響について）	JSCP
10:20	【事例報告】秋田魁新報社の自殺対策キャンペーン報道について	吉田新一 (秋田魁新報社)
10:50	地方メディアの自殺報道 現場の声を紹介	JSCP
11:05	休憩	
11:10	【パネルディスカッション】 テーマ「地方メディアが変わる、地域の自殺対策」	吉田新一（秋田魁新報社） 佐藤久男（蜘蛛の糸）
11:35	質疑応答	清水康之（JSCP）
11:55	閉会の挨拶	清水康之
12:00	閉会、アンケートのご記入	

### <登壇者 プロフィール>

#### ■吉田 新一 氏（秋田魁新報社 営業局長）

1967年、秋田県生まれ。1990年、秋田魁新報社入社。社会部で警察取材などに携わり、2007年から自殺対策キャンペーン「支え合う『いのち』」取材班に参加。編集委員、社会地域報道部長、デジタルセンター長などを経て22年から現職。10年、多重債務問題取材班代表として貧困ジャーナリズム賞受賞。22年～23年3月、第2期秋田県自殺対策計画の策定委員を務める。

#### ■佐藤 久男 氏（NPO法人「あきた自殺対策センター 蜘蛛の糸」理事長）

1943年、秋田県生まれ。高校卒業後、秋田県職員などを経て1977年に不動産会社を設立。2000年に倒産し、うつ病を発症。回復後の02年、友人経営者の自殺をきっかけに、中小企業経営者の自殺防止相談を受ける「蜘蛛の糸」を設立。自殺対策の民学官連携「秋田モデル」の推進役を担ってきた。20年からJSCP理事も務める。

#### ■清水 康之（JSCP代表理事/NPO法人「ライフリンク」代表）

1972年、東京生まれ。1997年、報道ディレクターとしてNHK入局。2001年、「クローズアップ現代」での自死遺児の取材を契機に自殺対策の取材を開始。04年、NHKを退局し「ライフリンク」を設立。06年には「自殺対策の法制化を求める3万人署名」を展開し、自殺対策基本法の制定に貢献。19年にJSCPを設立。

#### 【記事公開中】

秋田魁新報社の取り組みの概要をご紹介した記事  
「『いのち』を支えるためメディアができること」  
を公開しています。ご一読の上、ぜひご参加ください。  
<https://news.yahoo.co.jp/byline/yamaderakaoru/20230627-00353343>

